

展開例8 教師用「生徒理解シート」を進路面談に活用する

1. ねらい

- ①個性を理解し、将来を考えながら進路を方向づけできるようにさせる。
- ②検査結果を生かしながら、生徒の考え、悩みを理解する。
- ③自己理解を土台に、将来に向けた目標を考えさせる。
- ④教科の学力向上など進路実現のための具体的な準備に取り組みさせるきっかけとする。

2. 準備するもの

- ①教師用「生徒理解シート」

●事前の準備

教師用「生徒理解シート」をチェックする。以下の①～⑤について事前に教師用「生徒理解シート」にマークをしておくと、面接時にあわてなくてよい。

●チェックポイント①
「希望を実現する」の「進学希望」

- ・生徒の進路予定が「未定」になっていないか。
- ・生徒の進路予定と家族の進路予定が異なっていないか。

●チェックポイント②
「希望を実現する」の「生徒のアピールポイント」

- ・「GAKUTAN」から判断できた生徒の長所が挙げられている。
- ・大学への提出物や面接等に利用してほしい。

●チェックポイント③
「個性を知る」の各プロフィール

- ・各プロフィールで高いところや意外なところ、ユニークなところはないか。

面接・相談は生徒も緊張する。事前に教師用「生徒理解シート」から生徒の長所や特徴を把握し、穏やかで和やかな雰囲気づくりに努力する。また、生徒への「ほめ言葉」をストックする。

●チェックポイント⑤
「適性を探す」

- ・生徒の希望している進学先の総合適性はどうか。

●チェックポイント④
「学習活動データ」

- ・学習方法や学習意欲に問題や課題があるか。



●面談

「今日は先日行った進学適性検査の結果を踏まえながら、進路について相談しましょう。」

①生徒の進学希望を確認する。

「あなたは学問分野の『人間の行動や意識の研究』を希望しているね。自宅外から通学してもかまわないけど、浪人はしたくないと思っているね。具体的な大学や学部の希望があったら教えてくれるだろうか。」

こんな場合は…

- ・進学希望で本人と家族の希望が一致している場合（例：本人、家族とも国公立大学希望で自宅外の通学も可，そして浪人はできない，ということによって一致の場合）

声掛け例

「君は進学希望が「法律・政治の専門知識」だね。法律の知識を生かした仕事が将来の夢なんだね。国立大学の法学部志望で、国立大学だったら他県でもいいんだね。君は今からしっかりと自分の目標を持っていると思う。これからも君の目標に向かって前進できるように先生と一緒に考えていこう。」

- ・進学希望で本人と家族の希望が不一致の場合（例：本人は私立大学希望，自宅外の通学も可，浪人も可だが，家族は国公立大学希望，自宅からの通学，浪人は不可，という回答）

「君と家族の進路予定の希望がなかなか合わないみたいだね。君は具体的に入学したい大学名などは決まっている？ 家族と普段から進路や将来の話をしていれば、お互いの考え方がわかって、進路決定の直前にトラブルになることもないと思うよ。まだ1年生だ。家族の方と少しずつでもそういった話題を会話のネタにしていこう。今度の三者面談のときに、先生からも親御さんの気持ちを聞いてみようか。」

- ・生徒の進学希望が「未定」になっている場合

「まだ進学希望が決まっていないようだね。これをきっかけに将来について調べてみよう。今少しでも興味があることはないかな。」
（「個性を知る」の「興味プロフィール」で高いものについて『『援助』や『環境』に興味が高いようだね。自分ではどう思う？』などともちかけてみてもよい。）

- ・生徒の進学希望と家族の進学希望がすべて「未定」の場合

「まだ自分の将来をきちんと考えていないのかな。この『GAKUTAN』の結果を踏まえて、自分の将来の目標を先生と一緒に考えてみようか。」

②進学希望先の適性について確認する。

こんな場合は…

- ・進学希望先の総合適性が高い場合

声掛け例

「今回の結果では、進学希望先の適性が高いようだね。これからも、希望を実現させるために、さらにどういったことに力を入れていけばよいのか考えて実行してみよう。」

- ・進学希望先と総合適性が一致していない場合

「今回の結果では、進学希望先の適性があまり高くなかったようだね。適性を高くするためには、どういったことに力を入れればよいのか考えてみよう。また、希望していなくても総合適性が高かったほかの学問分野について調べてみたらどうだろう。新しい発見があるかもしれないよ。」

- ・進学希望先が「未定」の場合

「今回は進学希望先が『未定』だったけど、これをきっかけに将来について考えてみよう。総合適性が高かった学問分野をチェックして、その情報を集めてみよう。」

* 「適性を探す」の「文理判定マップ」も参考にアドバイスをする。

③生徒の「学習活動データ」を確認する。

こんな場合は…

- ・「学習方法」または「学習意欲」に問題が見つけれられた場合

声掛け例

「君は（具体的な問題点を挙げて）に課題があるように思うのだが、実際どんなふうに思っているのか詳しく教えてくれるだろうか。」

- ・「学習方法」「学習意欲」に問題が見つからない場合

「この検査では君の学習方法や学習意欲に課題が見つけれなかったけれど、君が自分で何か心配や不安とか知りたいことがあったら、ぜひ教えてくれるかな。」